

# 会社の健康診断

受けてみませんか？

## 千葉商科大学 企業診断のご案内

企業診断(経営診断)のメリット

実習満足度5点中  
平均**4.5点**以上

第三者からの客観的な助言

経営課題解決に向けた企業経営の活性化

各種調査結果は企業にフィードバック

診断はすべて無料

■お問い合わせ先 千葉商科大学 大学院課 火～日 (9:00～17:00)

電話 047-373-9755 メール [grad3@cuc.ac.jp](mailto:grad3@cuc.ac.jp)

※ご検討いただける企業様には、担当者が詳細をご説明に上がります。

**CUC**  
Chiba University of Commerce

無料

## 企業診断実習 受入先 企業様を募集しています!

本養成プログラムでは、中小企業診断士に求められる診断・助言・支援等の実践的能力を受講者が修得することを目的とし、実務さながらの企業診断を行う実習カリキュラムが組まれています。

専門的な知識や実務的経験に富んだ実習インストラクター(中小企業診断士や経営コンサルタント等)の指導、サポートを受けながら、本登録養成課程の受講生が無料で企業診断を行います。

### 企業診断(経営診断)実習の概要について

企業診断実習の種別	訪問日数	実施時期	ポイント
流通業経営診断実習I	4~6日程度	7月~8月	✓ 貴社が独自では実施しにくい各種環境調査分析(お客様の声など)を実施します
製造業経営診断実習I	4~6日程度	10月、12月	✓ 調査分析により各種要員の客観的な傾向をつかむことができます
経営戦略策定実習II (流通業)	4~6日程度	6月~7月	✓【流通業】店舗(現場)の改善策や経営戦略は客観的な調査分析結果に基づいて策定します
経営戦略策定実習II (製造業)	4~6日程度	7月~8月	✓【製造業】工場内の改善策や経営戦略案は、客観的な調査分析結果に基づいて策定します
経営戦略策定実習II (製造業)	4~6日程度	7月~8月	✓ 総合的な調査分析により、記者の強み・弱みを客観的に明らかになります ✓ 各種調査分析結果によって貴社の現状を浮き彫りにすることによって、経営戦略案の策定の指針が明らかになります
経営総合ソリューション 実習	5日程度	10月~11月	✓ 貴社が独自では実施しにくい各種調査・分析を実施します ✓ 重点課題の解決策が明らかになります

### 企業診断対象条件

#### 共通要件

- ✓ 法人の中小企業であること
- ✓ 営業時間が夜間営業中心でないこと

#### 流通業(対象業種:小売業、製造小売業)

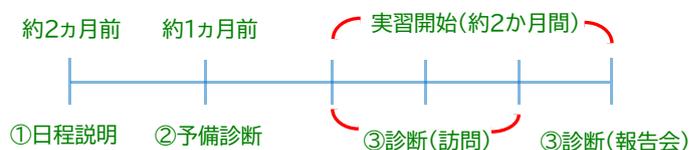
- ✓ 自社店舗があり、店内・店頭において商品を陳列していること
- ✓ 年商が概ね5,000万円程度以上(目安)であること
- ✓ 来店客や店前通行者へのアンケート調査が可能であること

#### 製造業(対象業種:製造業)

- ✓ 自社工場があり、製造ラインの製品にリピート性があること
- ✓ 自社工場内でIE手法を用いた分析が可能であること
- ✓ 従業員数概ね30名以上(目安)であること

### 企業診断(経営診断)までの流れ

- ① 診断の内容・日程説明(約2か月前)
- ② 診断の進め方の詳細打ち合せ【予備診断】(約1か月前)
- ③ 診断の実施(訪問調査・報告会等、4~6日間程度)



### 実習にあたってのお願い

- 決算書(直近3期分)をご提供ください
- 10名程度収容可能な会議室等をご提供ください
- 経営者様や現場管理者様へのヒアリングへのご協力
- 受講生の評価へのご協力(アンケート)

### 中小企業者の定義

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人